9月議会

清水町 議会だより

No.185
2019年10月30日
発行／静岡県駿東郡清水町議会

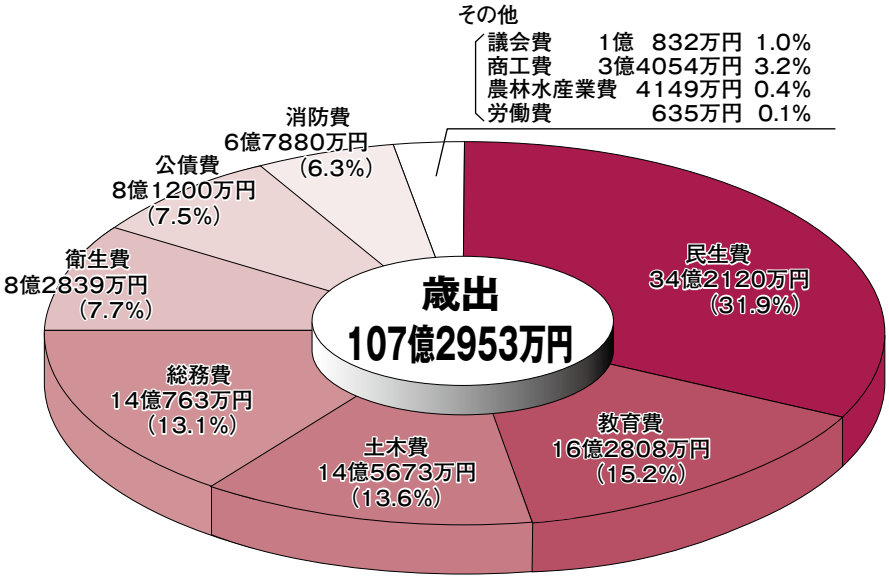
清水町の
ミライモンスター

シリーズ　第１回

陸上競技1500mで活躍する
宮下りのさんに
インタビュー！
(P20)

平成30年度決算を認定 …… 2
一般会計補正予算 …… 7
特別職給料・議員報酬引き上げ …… 8
国・県へ意見書を提出 …… 9
一般質問　8人が町政を問う …… 10
平成30年度政務活動費を公開します 18
視察受け入れ報告 …… 19
清水町のミライモンスター …… 20

放課後児童教室など）を拡充



9月議会

令和元年第3回定例会を9月2日から26日までの25日間にわたって開催しました。

平成30年度決算の認定や町特別職（町長・副町長・教育長）給料及び議員報酬の引き上げ、図書館の書架の入札など、23議案の審議を行い、すべて可決しました。また、「主要農作物の種子生産にかかわる県条例の制定を求める意見書の提出に関する陳情書」を採択するとともに、議員発議による意見書2件も可決しました。

一般質問では8人の議員が質問しました。

一般会計　実質収支額

（翌年度に繰り越すべきお金を差し引いた収支）

2億9036万円の黒字

財政力指数 0.972（3ヶ年平均　県内市町で7番目に高い）

※財政力指数は「1」を超えるほど財政に余裕があります。

の主な事業

こども医療費完全無料化　1億5523万円

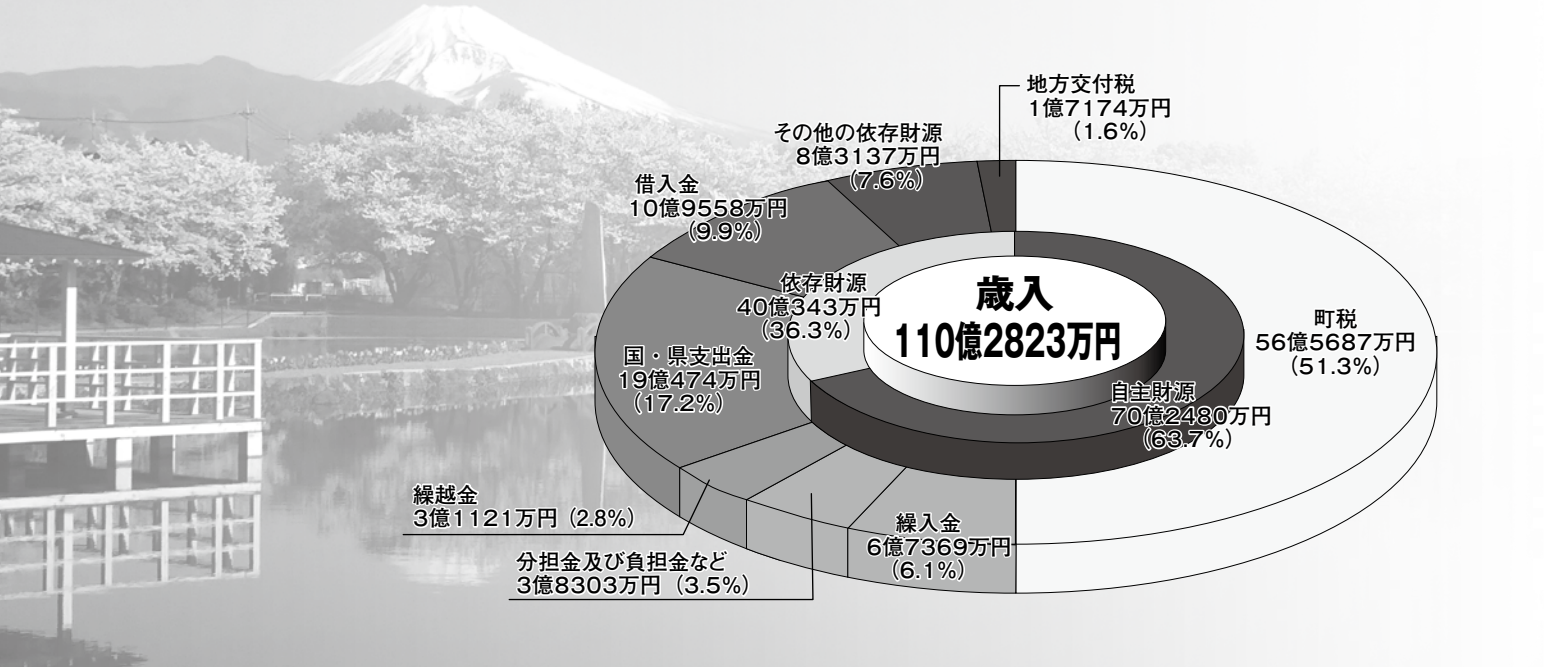
1回500円としていた、小学生から高校生までの通院医療費の自己負担額を無料とした。

放課後児童教室整備（西小など）　3843万円

待機児童解消のため、西小で新築工事、清水小で増設のための設計を行った。

平成30年度決算を認定

子育て施策（こども医療費・



各会計の決算の状況

会計名		歳入	歳出	採決の結果
一般会計		110億2823万円	107億2953万円	賛成10人反対3人
特別会計	土地取得	281万円	281万円	全員賛成
	国民健康保険事業	31億8189万円	31億4309万円	賛成11人反対2人
	介護保険事業	23億1207万円	22億2345万円	賛成11人反対2人
	後期高齢者医療	3億9461万円	3億8046万円	賛成11人反対2人
	公共下水道事業	15億2349万円	14億1603万円	全員賛成
	計	74億1487万円	71億6584万円	
合計		184億4310万円	178億9537万円	

平成30年度

地区公民館整備助成（中徳倉区・久米田区）　1億円

公民館の建て替えに伴い工事費の一部を助成。

中徳倉区

久米田区

消防団ポンプ車更新（第2分団）　2473万円

改正道路交通法に対応するため、2トン車に更新。

ように使われたか

審議しました

放課後児童教室

Q 社会福祉協議会に委託している清水小と西小より、企業に委託している南小の委託料が高い理由は。

A 南小については、社会福祉協議会が運営できないということで、民間事業者にプロポーザル（企画提案）方式で競争して金額を設定したため。

免許返納制度

Q 高齢者が運転免許を返納した場合の特典が、他市町より見劣りするが、町の見解は。

A 交付手数料1100円とバス・タクシー券4000円を助成しているが、新たな特典の追加ができるよう検討したい。

ふるさと納税

Q ふるさと納税での寄付金額は約250万円だが、他の市町へふるさと納税として出て行った金額は。

A 町民税の控除額として、約2460万円。

ゆうすいポイント

Q 端末処理機の使用料もかかる中で、加盟店のメリットは。

A 端末使用料は広告料として考えていただいている。

Q ポイントの利用状況が目標にほど遠く、加盟店も増えていない。見解は。

A 行政のサービスを使って地域経済の循環を作ろうという趣旨なので、利用ポイントが増えるような仕掛けを考えていきたい。

保　育　所

Q 保育士は正規職員が増えて、臨時職員が減ったと考えられるが。

A 幼稚園と保育所の人事異動で、保育所を増強した分、正規職員が増えている。臨時職員は人材不足で、募集してもなかなか集まらない。

教材園

Q 教材園の工事をしているが、一般開放の対象は町民なのか、観光客なのか。

A 町民にも観光客にも来ていただく。学校の教材としての活用とのバランスをとりながら考えていきたい。

観光協会

Q 観光協会に補助金を支出しているが、解散すると聞いた。経緯は。

A 観光協会は生業を持った方が傍らで活動をされていたが、近隣との広域化、高度化が必要となり、役場で日常的に関与するほうが能動的であると判断し、いったん解散することになった。当面は、役場と「わくら柿田川」で観光業務を分担して進めていくよう考えている。

検　診

Q がん検診の受診率は横ばい状態。後期高齢者の健診も同様だが、沼津医師会管内以外でも受診できるようにすべきでは。

A 働き盛りの年代は、職場で検診を受ける機会があると推察する。今後は、対象に応じた周知の方法を考える。

後期高齢者の健診は、医師会によって検査項目や費用面が違うことから調整が必要である。

まちのお金がどの

本会議と委員会で

地域交流センター

Q 利用回数、人数とも減少している。平成27年に使用料が値上げされた影響があるのでは。

A 値上げで利用人数が減ったとは考えていない。28年度は福祉センターが工事中だったために利用者が多かったと思われる。

防災無線

Q 防災無線をデジタル化することで、停電時に使えないというようなことはないか。

A 停電時でも親局の役場は自家発電により72時間は使用可能である。

丸池公園

Q 親水池に砂を入れた理由は。

A 藻が繁茂しやすい水質のため、藻の定着を抑え、維持管理費の節減を図ることを目的に砂を投入した。

学校図書

Q 各小学校とも図書の貸し出しが増加しているが、要因は。

A 30年度から、臨時職員の司書を各小学校に1人ずつ配置したことが要因の一つと考えている。

学校給食

Q 南中の調理委託費が上がった理由は。

A 29年度の途中で契約を更新し、30年度は通年となったことから増額となっている。最低賃金も上がっているので、人件費の影響もある。

討　論　賛成１０人　反対３人

賛成です

平成30年度決算は、過去最大規模の金額となっている。

こども医療費助成制度の拡充、清水小給食棟の改築、西小の放課後児童教室の増築、学校のエアコン設置の着手等、子育て施策の充実に力を入れてきた。

ゆうすいポイントの加盟店舗が増えていないのは事実だが、加盟店にとっては新規の客が増えるなど、数字に表せないメリットもある。

財政調整基金が減り、町債残高が増えているが、今後も安定的な財源確保と積極的な事業展開を期待する。

（桐原　直紀議員）

反対です

マイナンバーカードの普及、利用が低いのは、個人情報が漏れる危険が大きく、利便性が低い点にある。多大な税金が投入されたが、町民の1割しか使っていない。

南小の学童保育は民間企業に委託しているが、委託料が高額なのに質が良くなっていない。

保育所は待機児童が増えているのに、保育士が減っている。正規職を増やすべき。

ゆうすいポイントは、利用が少なく、店舗にもメリットが少ない。

教材園を観光資源として活かすには、一貫した方針にもとづいた予算立てが必要だ。

（吉川　清里議員）

国民健康保険

Q 短期保険証の交付状況を見ると、上半期は 335 件、下半期は 480 件発行している。短期保険証と滞納者との関係は。

A 有効期限の短い短期保険証は、過年度分の保険税を滞納している方に発行している。

Q 現年度分の収納率については、ここ数年 90 パーセントを切る状況が続いているが、何世帯が滞納しているのか。

A 平成 30 年度現年課税分は、課税世帯が 4190 世帯あり、そのうちの 598 世帯が滞納世帯である。

討　論　賛成１１人　反対２人

賛成です

歳入は一定の保険税を確保し、県等の規定に基づき交付金等を適正に処理するとともに、歳出も特定財源を適正に処理し、増加する医療給付費を抑制するため、特定健康診査・特定保健指導を実施し、町民の健康づくり事業に取り組むなど、国保財政の健全な運営に努力されたものと考える。

今後もさらなる収納率の向上を図り、データヘルス計画に基づく医療費の適正化と健康づくり事業の推進に努め、より一層の効果的な財政運営がなされることを期待する。（山本　文博議員）

反対です

清水町は、資格証明書の発行世帯、つまり保険証を発行されていない世帯が 45 世帯である。

滋賀県野洲市では資格証明書は 1 枚も発行しない。野洲市では 2016 年に「くらし支えあい条例」というものをつくり、その条例の中で、市の重要な役割は生活の困りごとを解決し、生活再建に向けた支援を行うこと、このように明記している。

国保の滞納者は、生活再建に力を入れる。

町は、野洲市のような目線と対応で解決していくべきだ。（森野　善広議員）

介護保険

賛成 11 人　反対２人

Q 被保険者に対する要支援・要介護者の割合は、30 年度で 14. 8 パーセント、その前年は 14. 2 パーセントと、年々増加している。要支援・要介護者が増加している現状をどのように考えるか。

A 地域包括ケアシステムを積極的に活用し、介護予防によって高齢者が介護状態にならないよう、また、要介護になったとしても、悪化を防ぐことにより給付費を抑え、介護保険事業の健全化に努めるべきと考える。

Q 健康診断や後期高齢者の受診率、特定審査の受診率を分析したが、健診率は上がっていない。介護予防の取り組みが不十分だと思われるが。

A 介護予防・日常支援総合事業、地域介護予防活動支援事業、包括的支援事業のほか、30 年度は新規事業のひとつとして、介護予防のための地域ケア個別会議等を行っている。

Q 30 年度の介護認定区分変更の申請件数は。

A 全申請 989 件のうち、131 件である。

一般会計 補正予算

都市計画総務費
玉川卸団地線周辺まちづくり説明会支援業務等
345万3000円

問 **玉川卸団地線周辺まちづくり説明会支援業務等の業務内容は。**

答 地権者説明会と地権者の意見集約などに関する支援業務が230万円余、残り120万円余は、公安委員会や道路管理者との交差点協議に必要となる予備設計業務となる。

地権者を対象とした説明会の様子

問 **具体的にどのような内容を考えているのか。**

答 検討会ということで、地権者有志でより具体的に検討していくことを同時並行で行う。その検討結果をフィードバックし、地権者200名による説明会を、中間と年度末の2回開催する予定である。それをもって意見集約をし、設立準備組合の移行につながるよう3分の2を上回る仮同意を得たいと考える。

保育所費
管理備品購入費
28万5000円

幼稚園総務費
管理備品購入費
39万9000円

給食費管理のための耐火金庫や硬貨枚数計算機の購入費

問 **保育所の給食費は、振り込みか引き落としではないのか。**

答 引き落としや振り込みは、手数料がかかってくる問題があるため検討はしているが、当面の間は現金徴収の予定である。

討　論　賛成11人　反対2人

賛成です

玉川卸団地線周辺まちづくりに関する支援業務などが盛り込まれている。

また、消費税率引き上げに伴い、本年10月1日から実施される幼児教育・保育の無償化に係る事務費や扶助費などの関連予算が計上されている。

子育て世代の保護者にとっては経済的負担の軽減が図られるなど、有益な制度であり、元気な子どもの声が聞こえる町の実現に向けて、国の制度改正への速やかな対応を図った予算であると評価できる。

（飯田　安雄議員）

反対です

10月からの消費税増税を前提として保育料が無償化をされるが、その一方で、従来は保育料に含まれていた給食費が実費徴収となり、町立保育所では、町独自制度で保育料無償だった世帯に、新たに給食費5500円の負担がかかってくる。

保育・幼児教育無償化と言いながら、こうした負担を現場にも、そして保護者にも押しつけてくる国のやり方が矛盾を引き起こしているが、その国の施策に対し、町民、保護者には負担を押しつけない町の姿勢が必要である。

（吉川　清里議員）

契約締結

清水町複合施設図書館の閉架書架購入契約
2164万8000円

問 **指名業者は何社か。また、入札の請負率は何パーセントだったか。**

答 入札は4社が参加し、請負率は90・23パーセントである。

問 **一般競争入札ではなく、指名競争入札とした理由は。**

答 工事の一般競争入札については、5000万円以上が対象となるが、物品に関してはその規定がない。町内あるいは近隣事業者を指名することで、地域経済の発展に寄与するものと考え、指名競争入札とした。

全員賛成

条例改正

特別職給料・議員報酬引き上げ

町長からの諮問を受け、約22年ぶりに召集された「清水町特別職報酬等審議会」では、町長ほか特別職の給料及び議員報酬について、慎重審議を行なった結果、近隣市町との均衡や社会経済情勢の変化などを踏まえ、適正な額に改定すべきとの答申がなされました。

これを受け、適正な額への引き上げを令和2年4月1日から行いたい旨、町長から議案の提出があったものです。

問 特別職報酬等審議会は何回開催され、委員からはどのような意見が出たのか。

答 特別職報酬等審議会の開催は、本年の1月と7月に2回開催した。委員からは、なぜこの22年間開かれなかったのかという相当厳しい意見があった。近隣市町と比較した中で、20数年引き上げていないため、報酬等の引き上げは妥当ではないかという意見が大半だった。

問 平成8年4月以来の改定だが、22年間議論してこなかった理由は。

答 最後に引き上げた8年以降、審議する機会を設けるべきだったが、経済状況等、バブルの崩壊や、リーマンショックがあり、なかなか引き上げに踏み出せない状況があり、審議会を開催できなかった。

◆審議会委員10人
農業委員会長、商工会長、区長会長、女性連絡会長、明るい選挙推進協議会長、行政改革推進委員長、南駿農業協同組合常務理事、静岡銀行清水町支店長、東海税理士会沼津支部、元清水町議会議員

賛成12人　反対1人

特別職給料及び議員報酬（月額）　単位：円

区分	現行	改正後	差額	長泉町	小山町
町長	770,000	**780,000**	10,000	800,000	760,000
副町長	620,000	**630,000**	10,000	640,000	620,000
教育長	570,000	**590,000**	20,000	590,000	590,000
議長	310,000	**330,000**	20,000	330,000	320,000
副議長	265,000	**280,000**	15,000	280,000	280,000
常任委員長	255,000	**270,000**	15,000	270,000	270,000
議員	245,000	**260,000**	15,000	260,000	260,000

保育所条例

10月1日施行の「幼児教育・保育の無償化」に伴い、条例で引用する用語等の改正を行いました。

問 保育所は厚生労働省が管轄し、児童福祉施設に位置づけられている。幼稚園は文部科学省が管轄し、教育施設となっている。今回『教育』という言葉が入っているがその意味は。

答 今回の無償化制度に当たり、国は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の機会を保障することを大前提としている。幼児期、特に3歳から5歳児までの教育が重要であるという認識から、教育という言葉が使われている。

問 保育所は、これからは教育もするということだが、認定こども園も同様の考えでいいのか。

答 認定こども園も、3歳から5歳児までの幼児に対し教育が行われているので、幼稚園、保育所と同様と考えている。

全員賛成

国・県へ意見書を提出

地震財特法の延長に関する意見書

意見書（抜粋）

東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するためには、地震対策緊急整備事業計画の充実と期間の延長を図り、これらの事業を迅速かつ的確に実施することにより、地震対策の一層の充実に努めていかなければならない。

よって国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するように強く要望する。

全員賛成

主要農作物の種子生産にかかわる県条例の制定を求める意見書

意見書（抜粋）

国会での種子法廃止法案の可決に当たっては、種子法が主要農作物の国内自給及び食料安全保障に多大な貢献をしてきたことを鑑み、優良な種子の流通確保や、引き続き都道府県が種子生産等に取り組むための財源措置のほか、特定企業による種子の独占防止などについて、万全を期すことを求める附帯決議がされている。

よって、静岡県においては、今後も現行の種子生産・普及体制を生かし、本県農業の主要農作物の優良な種子の安定供給や品質確保の取り組みを後退させることなく、農業者や消費者の不安を払拭するために、主要農作物の種子生産にかかわる条例を制定するよう強く要望する。

賛成12人 反対1人

条例制定

会計年度任用職員

令和2年度から、一般職の非常勤職員の任用及び服務規律等を明確化した会計年度任用職員が創設され、臨時的任用職員の任用要件が厳格化されます。

問 臨時職員200人程度のうち、156人が会計年度任用職員に移行するというが、移行しない50人程度の職員はどのような職種なのか。

答 移行しない職員の職種は、いろいろあるが、雇用形態によって会計年度任用職員にならない臨時職員がいる。

問 この条例制定は、国が言う同一労働同一賃金という考え方を基にしたものなのか。

答 同一労働同一賃金という考えが基本的なベースとしてある。ただ、今回の地方公務員法及び地方自治法の改正は、これまで臨時職員雇用の運用がかなり曖昧であったものを、はっきりさせるという国の方針で、非正規職員の働き方改革と考える。

問 代表的な事務補助職員としての臨時職員の給与月額がどのように変わるのか。

答 現在、事務補助の臨時職員は7時間45分の勤務で、月額で約16万3000円である。移行後は7時間勤務で、約14万円になり若干減少するが、これまで支給されていなかった期末手当が2・6カ月分支給されるので、年収で比較すると、約188万円から198万円となり、10万円ほどの増額になる。

全員賛成

8人が町政を問う

「一般質問」とは、行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。

問 オスプレイの低空飛行に抗議を

答 必要に応じて行う

森野 善広

問 オスプレイの清水町上空での飛行が確認されている。私が目撃した事例では、伏見の上空を南から北へヘリモードで低空飛行していた。写真で確認しておそらく200メートル前後の高さだ。

住宅密集地の真上を、低空飛行していいのか。

航空法では市街地は300メートル以上を飛ばないといけない。住民の安全を守るために、住宅密集地での低空飛行に抗議をすべきだ。

答（くらし安全課長）危険な飛行が目立つ場合、日米合同委員会合意等を遵守するよう県を通じ国に申し入れるなど、必要に応じて行う。

清水町上空を飛行するオスプレイ
（森野議員撮影）

就学援助制度の改善を

問 「暮らし満足度、日本一」を継承するとしている新町政なので、地域の中で1番を目指すのは当然である。子供の貧困が問題になって、町内でも子ども食堂などの取り組みがされているが、義務教育の無償化の中で、経済的な理由により教育の権利を失わせない取り組みとして就学援助制度がある。清水町での生活費用は家賃なども含めて近隣の中でも高いほうだ。当然就学援助の基準、内容は高くていいと思う。制度を利用できる収入基準の改善が必要ではないか。

答（教育総務課長）本町の就学援助制度で、要保護者に準ずる、準要保護者の収入基準は、生活保護基準額の1・3倍以内としている。

準要保護者の認定には住民税等の課税状況や国保税の減免の有無などさまざまな基準があり、それぞれの認定基準における世帯収入額との整合性などをとる必要があり、また収入基準の見直しにより新たな財政負担が生じることなどを踏まえ、今後の経済状況を考慮した上で検討していく。

問 就学援助の対象は数年前に拡大されて部活動費や、PTA会費なども対象になっている。清水町でも就学援助の対象を広げるべきだ。

答（教育総務課長）要保護児童生徒の場合、修学旅行費のみ支給対象とし、そのほかの経費は生活保護費から支給。

準要保護児童生徒へは、国の基準に基づいて町が独自に実施している。部活動費は、町で部活動事業費補助金を学校に対し交付していること、PTA会費は、規約等で減免措置を定めている場合もあることから、現在のところ、準要保護児童生徒への支給対象とはしていないが他団体の状況を踏まえ検討していく。

質問者の動画が見られます

問 学童保育 保育所の要望実現を

答 可能な限り検討

吉川 清里

問 今夏、学童保育と保育所の保護者にアンケートが行われた。保護者からは、土曜日と長期休みの現在の開所時間8時を早めて欲しいという要望が多かった。

開所時間を早めるためには、支援員を増やす必要がある。国の補助金の活用等で、時給を上げるなど支援員の待遇改善をすべきではないか。

答（こども未来課長）支援員の賃金は町が支払う範囲内で事業者が決定している。単価は近隣市町等の金額を参考に設定し、待遇面で支障が生じないように対応している。

保育所の給食費に補助を

問 10月からの保育無償化に伴って、給食費が実費徴収となるが、金額は。

答（こども未来課長）町立保育所、しいの木保育園、すこやか保育園は合計5500円。恵明キッズローズビレッジは合計5800円。

問 給食費の実費徴収で負担増となる人数と世帯数は。

答（こども未来課長）給食費が前月より増加する人数は77人、73世帯。

問 町は独自で保育料の軽減・無償化を行ってきたが、それに要した費用の額は。

答（こども未来課長）昨年度、第2子、第3子合わせて約2ー36万円。

問 浮いた費用で、給食費の補助ができないか。

答（こども未来課長）町独自の多子世帯軽減分は今後、不要になるが、保育料収入がなくなる中、幼児教育、保育無償化費用は相当の負担が見込まれる。財源の見通しがない中で、助成は困難。

サントムーン増床の影響は

問 来年春の増床オープンで当町への影響は。

答（産業観光課長）小売販売額の増加、新たな雇用の創出で活気ある街づくりに寄与する。

答（建設課長）柿田川公園から丸池までの改修の結果、交通環境が向上する。

問 通学路が駐車場に面している。交通整理員の配置を要望する考えは。

答（建設課長）利用実態に基づき、必要に応じて要望していく。

問 現在歩車分離式の交差点をスクランブル方式にできないか。

答（建設課長）警察に要望し、検討していくと回答を得ている。

斜め横断が常態化している
サントムーン前交差点

質問者の動画が見られます

ここが聞きたい

問 広域避難所施設の改修は
答 清水小学校体育館のみ必要

飯田 安雄

問 国の防災基本計画の修正により「地震臨時情報」はどのようなときに発表されるのか。

答（くらし安全課長） 大規模地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まった場合などに気象庁が発表する。

問 発表された場合、住民はどのような行動をとるべきと町は考えているのか。

答（くらし安全課長） 日常生活を行いつつ、一定期間、できるだけ安全な行動を求める。

問 当町は津波浸水想定地域はないが、土砂災害警戒指定区域への対応は。

答（くらし安全課長） 自主避難等、要望がある場合は、区や自主防災会と連携して対応する。

問 静岡県版のガイドラインが今年度中に策定予定だが、当町でのガイドラインの策定は。

答（くらし安全課長） 県を参考に、近隣市町と情報交換を行い策定する。

問 人口密集地の当町で、巨大地震発生時の大規模火災への対策については。

答（くらし安全課長） まず、駿東伊豆広域消防、町の消防団、次に自主防災会による消火活動が重要と考えている。

問 建物の耐震化・通電火災への対策は。

答（くらし安全課長） 対策は、「ドアや窓をあける」、「ガスの元栓を閉める」、「ブレーカーを落とす」ことを徹底訓練。

問 防災訓練のマンネリ化について、見直しは。

答（くらし安全課長） 的確な行動ができるように、繰り返しの訓練は必要。参加者を増やす見直しは検討している。

問 三島市での訓練など参考に、独自の訓練方法を進めていく必要があると思うが。

答（くらし安全課長） 引き続き、清水町に合った独自の訓練内容を模索していく。

問 昼間の火災などには中高生の役割が重要で、地域の「共助」に繋がると思うが、その点はどうか。

答（くらし安全課長） その通りで、町は学校を通じ、防災訓練への参加をお願いしている。

問 広域避難所施設（小中学校の体育館等）の改修工事が最優先と考えるが、現状と今後について町長の考えは。

答（町長） 現在、清水小学校体育館以外の改修の必要性はなし。今後も学校施設は、適正な維持管理に努めていく。

問 最近の集中豪雨など水害に対する「防災教育」が必要だと思う。検討してはどうか。

答（くらし安全課長） 現在、防災、河川環境教育の授業として実施している。

マンネリ化しない防災訓練を

質問者の動画が見られます

問 人口減少に向けた行政運営は

答 若手職員を含めた人材育成に努める

桐原 直紀

問 施政方針で述べられた「成果志向の行政運営」とは。

答（企画財政課長） 町民が事業の成果を皮膚感覚でわかるように、わかりやすい目標を設定し、その成果を追求していくものである。

問 目的志向型の組織編成とは。

答（総務課長） 職員全体が町民の視点に立ち、地域に生きる一員としての自覚を持つとともに、課題解決に向けた目標や成果を常に意識し最大の効果を発揮するために、同じ価値観を持って事業に取り組む組織編成である。

問 健全な行政運営を行うためには健康で元気な職員が必要不可欠だと考えるが職員の健康診断の結果は。

答（総務課長） 職員213人のうち165人が受診、異常なしが28人、経過観察が67人、再検査が2人、精密検査が5人、要受診が41人、要治療継続が22人。また、未受診者は48人であるが、昨年度から導入した人間ドック助成制度を活用しての受診を推奨している。

問 町ではストレスチェックを実施しているがその後の対応は。

答（総務課長） カウンセリングで職員のメンタルヘルス不調の未然防止、職場復帰支援など、より一層のサポート環境を整えている。

問 職員が健康かつ元気であることが町民サービスの向上につながると思う。住民ニーズの多様化により、様々な要望や苦情等の対応で、職員のストレス負荷が強くなっている傾向があると考えられる。専門的部署、相談室の配置などを検討してはどうか。

答（総務課長） 多くの問合せや苦情等への対応により、本来業務の時間を取られてしまうことなどから大きなストレスを感じている職員が存在するが、専門部署を配置しての対応となると、人員確保や専門教育など課題が多く難しいものと考える。しかしながら、この問題は今後さらに増えていくものと認識しているので、先進事例を参考に調査研究していく。

問 人口減少が想定される20年後に向けてどういった行政運営を考えているのか。

答（町長） 人口減少に伴い自治体のあり方を変えていかなければならないと認識している。今後は行政を取り巻く様々な課題に対応し、町民サービスの質の更なる向上を図るため、職員の意識改革を進めるとともに、役場組織が能力を十分に発揮できるよう、若手職員を含めた人材育成に努めていく。

活気あるまちづくりは活気ある町役場から

質問者の動画が見られます

ここが聞きたい

問 子どもたちの登下校時の安全をどう守るか

答 活力あるコミュニティを築く

山本 文博

問 小学校の防犯教育の実態は。

答（教育総務課長） 新一年生への防犯ブザーの贈呈をはじめ、警察署と連携し防犯・交通等の安全教室を行っている。また、防犯アドバイザー協会の協力を得て体験型防犯教室を実施している。

問 見守り活動の現状は。

答（教育総務課長） PTAや子供会などによる交通安全啓発を兼ねた活動や、地域ボランティアにより登下校時の通学路で実施している。

問 沼津市大岡で起きた事件での対応は。

答（教育総務課長） 沼津警察署や近隣市町教育委員会と連絡をとり情報収集をした。さらに校長会と協議し登校時刻を遅らせ、同報無線・各学校の緊急メールシステムにより保護者へ連絡した。また、登下校時には教員が見守り等を行った。

問 緊急時の見守り隊への下校時間変更の周知方法は。

答（教育総務課長） 各学校で運用している緊急メールシステムを見守り隊の方々にも利用できるか、校長会を通じ検討していく。

問 「子ども見守り隊」と「子ども110番の家」の推進は。

答（教育総務課長） 「子ども見守り隊」については、活動をできる限りサポートしながらともに推進していきたい。「子ども110番の家」については、対象を子どもから高齢者までと考え、依頼先を個人宅から民間事業者等を対象とするなど新たな視点で再構築する必要があると考えている。

問 登下校の防犯対策は町として、今後どのように地域との連携を取っていくのか。

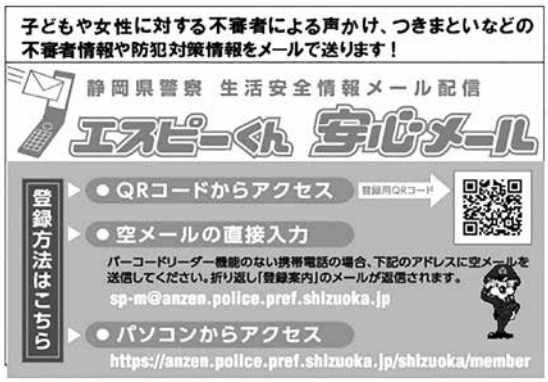
答（教育総務課長） 各学校の運営協議会が、学校と保護者、地域・行政の連携の中心となると考えている。

問 町民総ぐるみで子どもたちを守る体制づくりの支援はどうするのか。

答（教育長） 学校運営協議会、いわゆるコミュニティ・スクールの活動をさらに充実させ、学校・保護者・地域・行政が一体となって子どもを守り育てる体制を整えていく。

問 第5次清水町総合計画の策定に当たり、子どもたちの安全に関してどう盛り込んでいくか。

答（町長） 保護者や地域住民、地域の各団体・学校・事業者・町が一体となって活力あるコミュニティを築くとともに、一層の安全・安心なまちづくりに努めていく。



出典：静岡県警察ホームページ

地域ぐるみでこどもを守り育てよう

質問者の動画が見られます

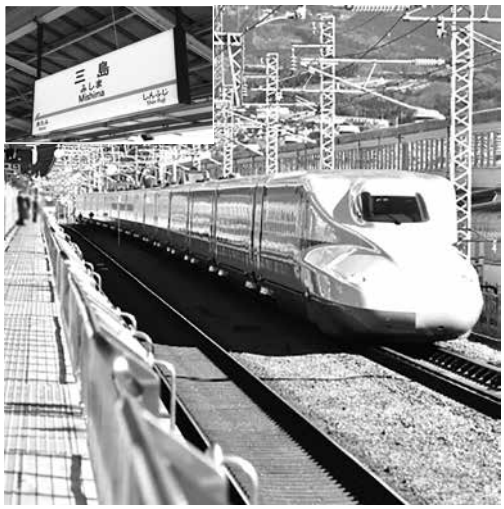
問 若者に通学定期券補助制度を

答 類似制度の事例を参考

松下 尚美

問 関町長の子育て若者支援の柱に通学定期券補助制度の新設を掲げているが、対象者はどのように考えているか。

答（企画財政課長）清水町で育ち、暮らす次代を担う首都圏へ通学する若者、またはその家庭に対し、経済的負担の軽減を図るとともに、首都圏への人口流出を防止するためのものである。



新幹線通学の学生に定期券補助を

問 首都圏だけでなく静岡市等へ通学している学生も対象として考えられないか。

答（企画財政課長）首都圏への人口流出を防ぐことを目的の一つと考えているため、静岡市等への通学者を対象とすることは考えていない。

問 先進事例として、長泉町では、町の未来を担う人材として町内に定住してもらうことを後押しするため、要件を満たした者に支援金を交付している。次世代を担う若者の考えを聞きながら、まちづくりにつなげる施策となっており、参考にすべきと考えるが。

答（企画財政課長）長泉町での制度は承知している。今後、本町の制度設計に当たり長泉町のメリット、デメリット等を伺うとともに、類似制度のある静岡市での事例についても参考にしていく。

新卒者・Uターン・移住者への居住補助は

問 新卒者・Uターン・移住者への居住費補助制度の新設を掲げているが現在取り組んでいる移住・定住施策は。

答（企画財政課長）若者夫婦等の住宅取得の支援により、定住促進と持ち家率の向上を図るため、平成28年度から実施している定住促進事業費補助金がある。また、東京圏から町内に移住し就業、起業した方に対し上限100万円の補助を行う制度も本年度から実施している。

問 現在の施策と新たな居住補助制度との違いは。

答（企画財政課長）居住費補助制度の新設についても、町長のまちづくりビジョンの中に位置づけられているものである。この制度と現在の定住促進事業費補助金とは、対象者、補助の対象などに違いが生じるものと考える。

問 移住希望者へのPR方法は。

答（企画財政課長）静岡県等が首都圏で主催する移住相談会や各種セミナーに参加し町の紹介や相談に対応している。また、移住希望者が本町を訪れた際には学校や病院、ショッピングセンター、公園など町内各所を職員が案内し、物件の相談には宅建協会・不動産協会との協定に基づき、紹介できる体制を構築している。

質問者の動画が見られます

ここが聞きたい

問 自転車にやさしいまちづくりを

答 矢羽根型路面表示、ピクトグラムを設置

佐野 俊光

問 町内の過去3年間における自転車乗車中の事故発生件数と交通事故全体に占める割合は。また負傷者の年代別人数は。

答（くらし安全課長）平成28年 38件、11％
29年 64件、17・6％
30年 71件、21・1％

30年における負傷者の年代別人数は、小学生2人、中学生3人、高校生13人、青壮年35人、高齢者17人。

問 自転車乗車中の静岡県下及び県東部地域における清水町の事故発生件数の順位は。

答（くらし安全課長）昨年はいずれもワースト1位である。

問 組織的に自転車事故を減らすための対策を早急に進めるべきでは。

答（くらし安全課長）沼津警察署及び交通関連の団体等とさらなる連携を図り、より効果的な交通教室及び啓発事業を実施し、交通事故防止に努める。

問 これまで自転車の交通ルールについて、どのように指導や教育を行ってきたか。

答（くらし安全課長）本年7月にシニア交通防犯講習会において車道の左側を走行することなど指導した。

問 自転車の安全対策として、ピクトグラムや矢羽根型路面表示が有効と考えるが。

答（建設課長）当面は、暫定形態として車道混在の整備を優先する考え。これは、自転車の通行位置を示し、矢羽根型路面表示や自転車のピクトグラムの設置を行うもの。

問 安全で快適な自転車の利用環境整備に向け、「清水町自転車活用推進計画」を策定すべきと提案するが、町の考えは。

答（町長）多様化する自転車利用に関する課題に対応した計画の策定について、関係機関等と協議を図りつつ推進していく。

ルール・マナーを守って自転車事故を減らそう

玉川卸団地線の整備は

問 都市計画道路玉川・卸団地線の整備に併せた面的整備の現在の進捗状況は。

答（都市計画課長）国道1号線との接続には、国土交通省及び県公安委員との事前協議が必要であることから、順次関係機関との協議を進めている。

問 新たに地権者有志による検討会を立ち上げたとのことだが、どのように活用していくのか。

答（都市計画課長）公共施設の配置、減歩率の計算、資金計画等、より具体的な検討を進め、事業計画案を作成するとともに、必要に応じ先進地の視察を実施する。

質問者の動画が見られます

問 町はどのように収入を増やしていくのか

答 町長自らトップセールスを行う

松浦 俊介

問 当町の貯金にあたる財政調整基金は、平成25年度末の約17億円の残高をピークに年々減少し、30年度末には約7億6000万円の残高となっている。

本年度以降もさらに減少していくことが中期財政計画では推計されているが、現状の分析と展望は。

答（企画財政課長）財政健全化判断比率は適正な範囲内にあり、財政指標においても他市町と比較して遜色なく、中期的な観点からも、この状態が続くものと見込んでいる。今後の財政運営については、財政調整基金の残高がさらに減少していく見込みであり、非常に厳しい状況での財政運営が続くものと考えている。

問 茨城県境町は、43歳、2期目の橋本正裕町長の強力なリーダーシップで子育て日本一を目指し、英語教育などさまざまな子育て支援策に力を入れている。

また、その財源にふるさと納税や国の補助金などを活用している。

ふるさと納税は、25年度は7件、6万5000円だったが、30年度は、全国8位で18万7件、60億8300万円となっている。

麗澤大学、明治大学と協定を締結し、産官学の連携を図り、電通の社員を参与にしている。

一般的に自治体はマーケティングが弱いため、民間から人材を登用し、的確な政策が打てるように「境町マーケティング推進本部」を設置している。

当町も境町のように町長のリーダーシップが重要だが、町はどのように収入を増やしていくのか。

答（町長）本町としても一層の収入の確保と町の情報発信に向けたふるさと納税制度のあり方について、従来のモノによる返礼品のみならず、体験型の返礼品等についても、先進事例を参考にしながら調査・研究していく。

また、私自らが職員の先頭に立ち、トップセールスを行い、各種歳入の確保を図るとともに未来へ続く健全な財政運営に努めていく。

循環バスに回数券・定期券を

問 愛知県大口町のコミュニティバスでは、回数券11枚綴り1000円、1日乗車券11枚綴り2000円をバス車内と町内施設6カ所で販売している。

回数券利用は全体の36パーセント程で、1日乗車券利用は3・1パーセント程である。

県内では、富士市や島田市で回数券を導入している。

当町でも回数券や定期券を導入してはどうか。

答（くらし安全課長）回数券、定期券の有用性等を踏まえ、循環バスを運営する事業者とバス利用者の利便性を考慮しながら調査・研究していく。

みんなで乗ろう　循環バス

質問者の動画が見られます

平成30年度政務活動費を公開します

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）に1人あたり**年額15万円**が交付されるものです。

各会派は、収支報告書に領収書を添付し議長に提出しています。年度において残余額がある場合は、町に返還しています。

平成30年度 政務活動費決算一覧表

単位：円

会派名	会派構成	会派への交付額（A）	会派での支出額（B）	内訳				町への返還額（A－B）
				調査研究・研修費	資料作成・購入費	広報費	事務所費	
日本共産党議員団	森野善広 吉川清里	300,000	75,101	0	43,764	31,337	0	224,899
湧創フォーラム	原喜久雄 松浦俊介 佐野俊光	450,000	335,389	263,484	71,905	0	0	114,611
新生会	渡邉和豊 岩﨑髙雄 秋山治美 大濱博史	600,000	384,750	351,316	33,434	0	0	215,250
絆の会	木村寛夫 石垣雅雄 花堂晴美	450,000	298,655	144,138	119,517	35,000	0	151,345
湧水かわせみの会	桐原直紀	150,000	168,987	28,587	0	140,400	0	0
湧勇会	中野　尚	150,000	90,240	0	10,604	79,636	0	59,760

平成30年度 会派別調査・研修会一覧

（平成30年4月1日～平成31年3月31日まで）

期　日	会派名	参加者（人）	調査・研修先	調査・研修内容
7月12日	絆の会	1人	早稲田大学	全国地方議会サミット2018
10月10日～12日	湧創フォーラム 新生会	7人	熊本県益城町 熊本県嘉島町 岡山県和気町	熊本地震に関する復興支援 熊本地震に関して事業関連の復興支援 企業誘致 和気町公営塾
10月11日	絆の会	3人	神奈川県相模原市 JAXA	子どもに科学を　自治体との教育協定
10月22日～23日	絆の会 湧水かわせみの会	4人	東京都千代田区 茨城県つくば市	働き方改革関連法案 小中一貫教育と取り組み

群馬県千代田町議会広報編集委員会が清水町に

予定時間をオーバーし活発な意見交換が行われました

**共に学び
共に活かす！**

令和元年７月 24 日に群馬県千代田町議会の議会広報編集委員会の７人の委員の皆様が先進地視察の一環として当町議会の広報広聴委員会の委員会活動の視察に来庁されました。

群馬県千代田町は埼玉県の県境に位置する人口約１万２千人の町です。

清水町での議会だよりの作り方を説明後、質疑応答に移りました。広聴に対する考え方や委員会構成のあり方、編集方法など多岐に渡って千代田町、清水町の両方の委員間で忌憚のない意見を交わし予定時間をオーバーするほどの活発な意見交換ができました。

今回は当町議会への視察ではありますが、共に学び、そしてこれからの清水町の議会だより作りにも活かせるようにしてまいります。

研修終了後、当町の議場も見学していただきました

図書館・保健センター複合施設整備事業の現地視察を実施

**町の仕事を
しっかりチェック！**

ガラス張りで解放感溢れる図書館内部の進行状況を聞く各議員

現在、町では図書館と保健センターを合築した複合施設を堂庭地区に建設しています。

令和元年９月 19 日に現在の建設状況の把握のために現地視察が実施されました。

現在の進捗は６割程度で順調に進んでいます。完成予定は令和２年１月 10 日ごろを予定しており、図書館の運用開始は７月中を目途に進められています。

小さなお子様から高齢者まで多くの町民の皆様の憩いの場となるよう町民の皆様へのアンケートを元に幼児遊具や足つぼを刺激する健康器具や背伸ばしベンチなどを屋上庭園に設置する計画も進められています。

今後も引き続き多くの町民の皆様の憩いの場となる施設となるように議会としても町の仕事をしっかりチェックしてまいります。

屋上庭園では、町民からの意見を元に様々な設備が設置される予定

表紙の写真 「清水町のミライモンスター」シリーズ第１回目は
現在、加藤学園高校３年生の **宮下 りの さん**です。

清水中学時代は全国中学校駅伝大会において県大会優勝そして全国出場を２年連続で決めた立役者。しずおか市町対抗駅伝においても清水町の主力メンバーとして活躍。今年の高校総体（インターハイ）の 1500 mにおいて県・東海大会ともに**優勝**し全国大会に出場しました。

―インターハイ県・東海大会優勝そして全国大会出場おめでとうございます。率直な感想は。

ありがとうございます。優勝は嬉しいという気持ちはあったのですが、自分でも信じられなくて本当かなと思ってしまいました。全国大会は直前のケガで良い結果は残せませんでしたが、レベルの高さを痛感しました。

―長距離を始めたきっかけは。

中学の時に先輩から誘われたのが最初です。それまで走るのはそんなに得意な方ではなかったのですが、練習をした分だけ結果が上がってくるのが嬉しくて、それから陸上にのめり込みました。

―今までで一番嬉しかったレースは。

インターハイ東海大会での優勝です。東海大会での優勝は世界が変わった気がしました。優勝が嬉しいというより、家族や友人を含めて応援してくれた人が喜んでくれているのが嬉しいです。応援が自分の原動力になります。

―議会だよりを読んだことはありますか。

町のことは気になるので、結構読みます。

―清水町での一番の思い出は。

小さい頃柿田川公園で遊んだことです。小学校の昼休みには毎日、教材園で遊んでいました。柿田川が自分の基準になっていたので、試合で他の市町の川を見た時に柿田川の凄さがわかりました。

―清水町がどんな町になって欲しいですか。

スポーツだけでなく文化的なこと、例えば近所なのですが小さいころ遊んだことのある藤井君が囲碁のプロになったと聞いてびっくりしました。そんな頑張っている人たちがもっと活躍できる環境を整えて欲しいです。

―清水町での憧れの先輩は。

やはり佐藤悠基さんです。中学の時、駅伝で全国大会に出場したメンバー全員にスパイクをいただいたのは嬉しかったです。感動しました。清水町に生まれてよかったと思いました。

―今後の夢は。

オリンピックと言いたいところですが、まずは目の前の事をひとつずつクリアしていった先にオリンピックがあれば嬉しいです。卒業後は実業団に進む事が決まったので頑張りたいです。

―後輩にひと言。

陸上を通して思った事ですが、自分が無理だと思ってもチャレンジして欲しいです。苦しくても続けることが結果にも繋がってくると信じて欲しいです。

（インタビュアー　桐原・吉川）

お知らせ　議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則ですので、どなたも自由に傍聴ができます。

本会議の当日、役場５階の受付係に申し出ていただき、傍聴券の交付を受けてください。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の定例会は

11月29日 午前９時

開会予定です。

編集後記

台風19号は、各地に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方にお悔やみを申し上げるとともに、被災された方に心からお見舞申し上げます。

町内でも狩野川、黄瀬川が氾濫危険水位を超え、２０００人近い町民が避難所に避難しました。みなさんにとっても、不安な一日だったと思います。函南町・小山町では断水や土砂崩れなどの被害も発生しています。

当町で大きな被害が無かったことを「幸い」とせず、今回で得た教訓をわが町の防災に生かすよう努めていきたいと思います。

（吉川）

発行・編集責任者
議　長　渡邉　和豊
広報広聴委員会
委員長　桐原　直紀
副委員長　吉川　清里
委　員　松浦　俊介
山本　文博
松下　尚美
飯田　安雄

この議会だよりは1万2700部製作し、1部当たりの製作費は約27円です。

発行：清水町議会
編集：広報広聴委員会
TEL 055-981-8240 FAX 055-973-3913
mail:gikai@town.shimizu.shizuoka.jp
印刷：株式会社東海印刷